

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## 三菱倉庫株式会社（証券コード:9301）

### 【据置】

長期発行体格付	AA
格付の見通し	安定的
債券格付	AA
国内CP格付	J-1+

### ■格付事由

- 倉庫を中核とした陸上運送、港湾運送、国際運送取扱などの物流事業および不動産事業を展開する。物流事業では、三菱グループをはじめ、大手の海運会社や製薬会社などの優良顧客と安定した取引関係にある。医薬品物流に強みを有し、医薬品の適正流通（GDP）ガイドラインに対応した物流サービスなどを手掛ける。不動産事業では、物流施設跡地を活用したオフィスや商業施設などのビル賃貸のほか、マンション分譲を中心とする不動産販売等を手掛ける。
- 良好な収益基盤が維持されている。物流事業では、「経営計画 [2022-2024]」で掲げる重点分野の強化や海外事業における基盤の拡大が成果をあげている。不動産事業についても、安定した収益源であることに変化はみられない。先端技術の活用による効率化や高度化なども推進されており、業績は引き続き堅調に推移すると考えられる。財務面では、戦略投資を含む積極的な設備投資が計画されているが、今後も健全な財務構成を維持できる見込みである。以上より、格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- 25/3期の営業利益は200億円（前期比5.6%増）の計画である。物流事業では作業運送委託費等の増加がマイナス要因となるものの、不動産事業における新規賃貸施設の稼働やマンション販売収入の貢献が見込まれる。企業価値向上の施策の一つとして、物流事業と不動産事業のシナジーとアセットマネジメントの強化に取り組む方針であり、こうした成長戦略がさらなる利益成長に繋がるかに注目していく。
- 25/3期第1四半期末の自己資本比率は60.6%（24/3期末59.7%）と、財務構成は良好な水準を維持している。成長戦略の推進により、中期的には比較的高水準の投資が続くと予想される。ただ、財務安定性に配慮する姿勢に変わりはなく、キャッシュフロー創出力の安定性の高さを踏まえれば、財務基盤が大きく悪化する懸念は小さいと考えられる。

（担当）加藤 直樹・喜多村 早織

### ■格付対象

発行体：三菱倉庫株式会社

### 【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第16回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	80億円	2017年12月8日	2024年12月6日	0.210%	AA
第17回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	80億円	2017年12月8日	2027年12月8日	0.340%	AA
第18回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2019年12月5日	2029年12月5日	0.220%	AA
第19回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2019年12月5日	2039年12月5日	0.610%	AA
第20回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2024年3月14日	2031年3月14日	0.759%	AA

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第21回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2024年3月14日	2034年3月14日	1.035%	AA
対象	発行限度額	格付			
コマーシャルペーパー	200億円	J-1+			

## 格付提供方針等に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2024年10月16日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也  
主任格付アナリスト：加藤 直樹
- 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2024年10月1日）、「倉庫」（2020年5月29日）として掲載している。
- 格付関係者：  
（発行体・債務者等） 三菱倉庫株式会社
- 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表  
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- 格付関係者による関与：  
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
- JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

**株式会社 日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル